

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成24年3月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は6から7に増加。「減少した」業種は4から1に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は11から15に増加。「減少した」業種は13から6に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は4から6に増加。「悪化した」業種は16から11に減少。

前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は5のまま変化なし。「減少した」業種は6のまま変化なし。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は10から11に増加。「減少した」業種は12から13に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2から9に増加。「悪化した」業種は21から17に減少。

製造業

しょうゆ製造

【県内全域】

4月1日から輸入小麦の政府売値価格を平均15%引き下げ、小麦の生産量が消費量を上回り、弱含みや円高の進行などによるため。

漬物製造

【県内全域】

相変わらず原料野菜の高騰が続き収益を圧迫している。

豆腐製造

【県内全域】

豆腐業界初めてとなる食品中の放射性物質の新基準に対応した検査器を当組合に導入した。

牛乳小売

【県内全域】

乳酸菌は好調に伸びている。

製材

【県内全域】

震災の復興需要に加えて、消費税増税による駆け込み需要も考えられる。

製材

【木更津】

3月の入荷・南洋材2300㎡、ロシア材3000㎡、米材2700㎡が入荷した。

印刷

【県内全域】

県内印刷業3月の受注件数はさらに増加した。売上高は受注競争の激化による単価下落や予算縮減が影響して大きくは伸びないものの、年度末に納品を控えた官公需

季節需要による商業印刷物の増加などの結果、受注件数は伸び設備は活発に稼働した。

電気鍍金

【千葉】

幾分受注が好転してきているようだが、先行きの見通しが不透明なために設備投資の実行ができていない。

鉄工

【千葉】

歴史的な円高が是正されつつあることは明るい材料。各社の動向は、現状特段の変化は見られず、横ばい推移の状態となっている。

機械部品製造

【野田】

全体的に操業度が上がってきている状況。電力料upの動向は、原価転嫁できる状況になく、海外等苦境の選択を強いられてきている。

機械部品製造

【流山】

原油価格の高騰により、ガソリン等の燃料費が上昇しており、その他の石化製品も価格が上昇すると厳しさがより増す。

機械部品製造

【柏】

昨年比は大震災の為、比較にならないが前々年水準に売上ベースでは戻りつつある。しかし、円高(空洞化)、原油高(材料価格上昇)等、先行きは2年前より不安定。不透明で厳しい。業界動向は、組合員の取

引先のコストダウン要請、海外生産へのシフト等売上の減少につながっている。また、原油高(ナフサ)プラスチックの価格上昇が利益を圧迫。

【土砂採取】

【県内全域】

埋立用山砂については、工事物件があまりなく、厳しい予想となるので、生コン用砂を取り扱っていない会社は、経営にも影響がでる可能性がある。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

【電設資材】例年は年度末の需要から売上増加するが、今期は震災等の影響で工事が被災地に偏り、売上増加しない。資材価格も上昇しており、採算性低下。各社とも燃料費の高騰からコストアップ。このまま続けば、収益性低下必至。

【食肉卸売】

【千葉市他】

厳しい状況。放射性物質の影響により、牛肉の価格が低迷。

【建築材料卸売】

【県内全域】

数量的には2・3月は前年比20%増加。暦年・会計年度とも年間前年より15%増加。工場作業員や運転手、各車が東北にとられ、千葉県内納入に支障が出てきている。但し、価格は建設資材全般低下気味でセメントも価格維持が精

一杯。液状化対策の工事も要請は多いが景気は沈滞ムードである。

セメントメーカーは、合理化効果、数量増、値上げにより業績回復してきた。セメント本業での利益確保のため積み残し分の価格修正値上げを要請している。インフラ整備・更新の需要と予算縮小の狭間で模索が続く。

【自動車解体】

【県内全域】

新車販売が伸びているため、下取り、廃車になる車が増加、仕入に好影響がはじまっている。レアメタルリサイクルに関連して、自動車メーカーによる解体業者の囲い込みの動きあり。

【乾物卸売】

【県内全域】

消費低迷状況は変わらない。海苔生産量の大幅減少見通しは変わらず。需要の多い低価格帯の相場が依然高い。

【小売】

【柏市】

景況の好転を感ずる。気温の上昇に伴い、出足の悪かった春物衣料品を中心に、高額商品にも動きがある。

【電気機器小売】

【県内全域】

先月に続き、販売の低迷が止まらない。期待される太陽光発電も未だ伸びず、先が読めない。

【青果小売】

【千葉市】

主力の大型野菜が先月よりさらに高値へ。また、果物はみかんから苺と主力が動いたが思ったより値段が下がらず、(低温のため)今一步動きが悪い。売上の面では最近で最も悪いと思われる。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

売り買いたもに期末要因が色濃く反映、エコカー補助金による下取車の流入増による新規ダマが成約率に好効果を及ぼしている。3月最終週の売り気展開、また、経済基調の転換にも要注意の状況で新年度に向けた影響も考慮した取引が続いている。

【小売】

【東金】

新入学関連商品は、例年より遅めの動きで価格帯が低くなっている。食品関係は健闘。ファッション関連は、寒さが続き春物の動きが悪い。

【印鑑小売】

【県内全域】

売上が大幅なマイナス。前年同月比は大幅に減少しそうな状況。財団法人・社団法人の名称変更は4月以降(来年度)にずれ込む人が多く模様。特需となる様、これまで以上に営業努力をしていく。

【自動車一般整備】

【柏市】

工場入庫台数に差が出てきた。

【建設揚重】

【県内全域】

設備の稼働は好調が続いている。4月迄はこの状況が継続の見込み。

【一般廃棄物処理】

【千葉市】

前年同月は震災直後だったこともあり、比較すると当月の方が良い。しかし、年間を通すとかなり厳しい1年であった。

【学習塾】

【県内全域】

新入塾生の募集と春期講習とが重なり繁忙期。新入の募集状況は、出足が遅い感がある。4月いっぱいまで入塾を考慮中の生徒も多い。

【ソフトウェア】

【県内全域】

年度末ということで概ね良好な感じであるが、一過性なのか継続性があるのか翌月を見極めたい。

【建設】

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は23年4月〜24年4月までほぼ同額であった。地域的には千葉が減少し、北総・海匝・香取・君津・安房・長生・山武・市原・京葉・夷隅は、増加と同額であった。

【輸出入】

【県内全域】

回復しつつあるが、前月比を超えても、前年同月比を超えない。